

幼児文化芸術

新時代の幕開け

財団法人設立

平成二十五年一月、七園の同志が集まり、「財団法人文化芸術協会」を設立しました。前身は「幼児第九の会」として、一年前に幼児の第九合唱を多くの園、保護者、大人、皆で歌おうという素朴な思いからでした。その後、仲間の思いが日々熱くなり、これからの国際社会で活躍できる立派な日本人を育てよう、異文化を学ぼう、品格ある国際人の土台をつくらうと発展していきました。そして幼児教育の原点である「親子の絆」を改めてしっかり育てようという共通の価値観に至りました。始めの一步は、「第一回幼児文化芸術祭」の開催、そして今年度より各会員園での幼児文化芸術プログラムが始まり、新しい幼児教育が立ち上がりました。

巷では、待機児童対策が叫ばれています。心が育つ幼児期こそ、親子の絆が欠かせません。本財団では、本来の幼児教育をとり戻し、新しい時代の幼児教育を、会員七園の子どもたち、保護者、仲間とともに、夢をもって進めてまいります。皆様のご協力をよろしく願います。

(財)幼児文化芸術協会

会長 岡田勝彦

2013年7月吉日

創刊号

発行:



一般財団法人
幼児文化芸術協会

会員園ご紹介

- 栄光八事幼稚園(天白区)
- 志だみ幼稚園(守山区)
- 中央台幼稚園(春日井市)
- とみよし幼稚園(愛西市)
- 名古屋西幼稚園(西区)
- 鳴海ヶ丘幼稚園(緑区)
- 美里幼稚園(豊田市)

※50音順

鳴海ヶ丘幼稚園

民族楽器を

鳴らしてみよう!

今年度第1回目の文化芸術プログラムは、民族楽器体験。音の達人ムロさんをお招きしてジャンベを使ったアフリカの民族音楽を体験しました。



ジャンベとは、西アフリカの太鼓で、木をくりぬいて作られています。山羊の皮が張られていて、パチを使わずに手でたたきます。

みんな、アフリカの民族になった気分、ムロさんの掛け声に合わせて、頭をふったり、両手をバザンと鳴らしてみたりしながらジャンベを打ち鳴らして見ました。また、民族楽器のコンサートでは、聴いているうちにみんなノリノリにリズムに合せて、体を動かしたり、お友だちと手をたたいたりしながら、民族音楽を楽しみました。

会員園トピックス

名古屋西幼稚園

テーブルマナー

始めの一步

第1回「文化芸術体験教室」は、マナー体験。最初は、食器、ナプキンやテーブルクロスなどをみんで確認しました。そして子どもたちの大好きなカレーライスを各自でお絵描きし、まもなくやってくる「母の日」のために、みんなが食卓を作りました。テーブルクロスを敷いて、花や置物を並べて、素敵な家庭の食卓の出来上がり! 箸の持ち方も1・2・3の手順で持つことも教わり、目からうろこのお母様もいらつしやいました。「テーブルマナー」というと食卓の動作の形式を整えがちになりますが、一番の目的は何なのか? それかわかって実践すれば「思い出に残る魔法の食卓」ができますよ。」という先生のお話に参加されたお母様方も大いにうなずいて見えました。



第1回幼児文化芸術祭開催!

「幼児第九」を発表しました!

3月24日(日)第6回モリコロパーク春まつりにて、「幼児第九」発表会および幼児文化芸術体験イベントを行いました。声楽家の方の素晴らしい歌声で幕をあげ、会員園園児総勢400名の「希望の歌」が始まると子どもたちの澄んだ歌声が会場になった地球市民交流センター内に響き渡りました。最後は、会場のお客様も一緒に参加し、あたたかいハーモニーに包まれました。とても素晴らしい発表会となりました。

また会場外のブースでは、様々な文化芸術の体験コーナーが催され、来場されたご家族で大盛況でした。

第2回幼児文化芸術祭も来年の3月に開催予定です。

お楽しみに・・・。



平成25年3月25日
中日新聞に掲載されました。